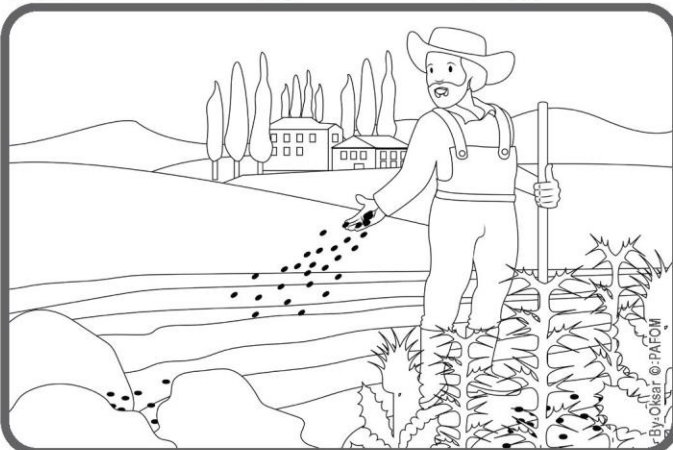


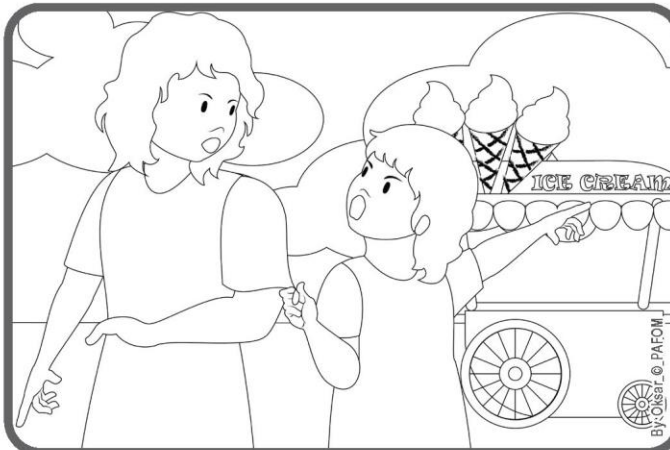


イエスさまをおむかえするために、こころをととのえましょう。

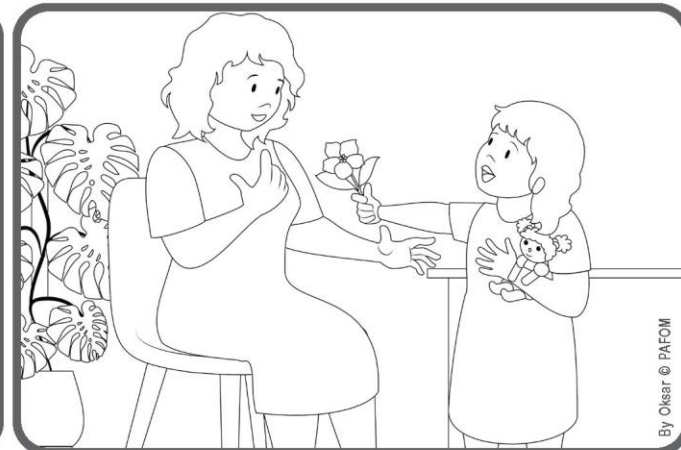
「よいとちにまかれたものとは、みことばをきいてさとりひとであり、あるものは100 ばい、あるものは60 ばい、あるものは30 ばいのみをむすぶのである。」
(マタイ13・23)



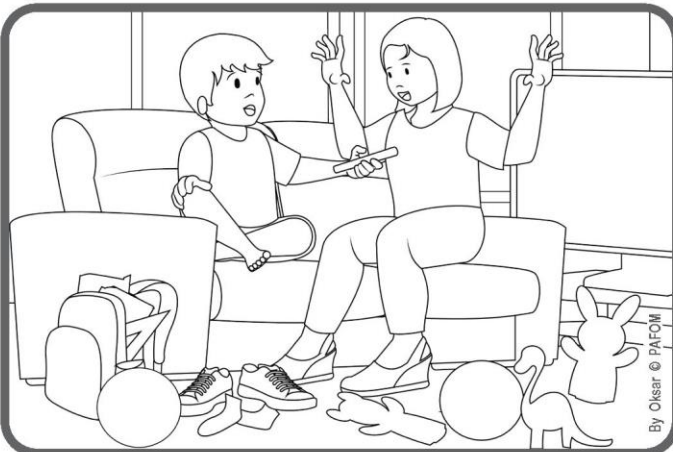
のうふが たねを まくところを みたことが ありますか。まず、つちをしっかりととのえます。たねをうけいれて、そだてるためです。もしたねがいしのあいだやいばらのなかにおちたら、おおきくそだつことができません。



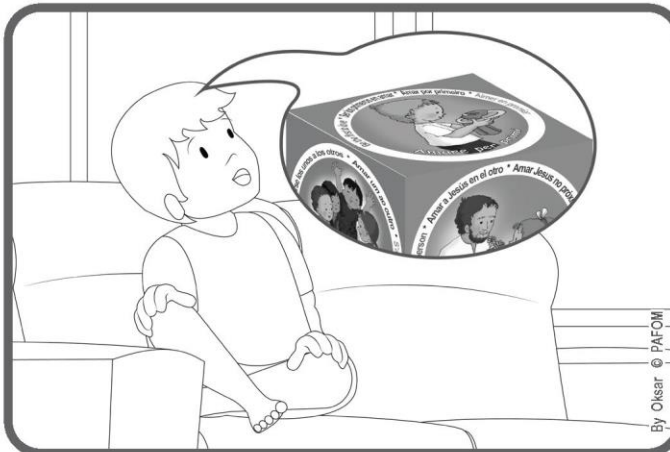
わたしたちも、イエスさまの みことばという「たね」をうけいれるために、こころの「つち」をしっかりととのえなければなりません。そして、おこったり、しっとしたり、じぶんのことばかり かんがえたりすると、こころに「いし」ができます。



ゆるしたり、「ごめんなさい」と あやまったり、もういちど がんばろうとしたりすると、こころの「つち」はまた よいつちになります。かみさまの みことばの「たね」が そだち、イエスさまがおしえてくださったようにいえることができます。

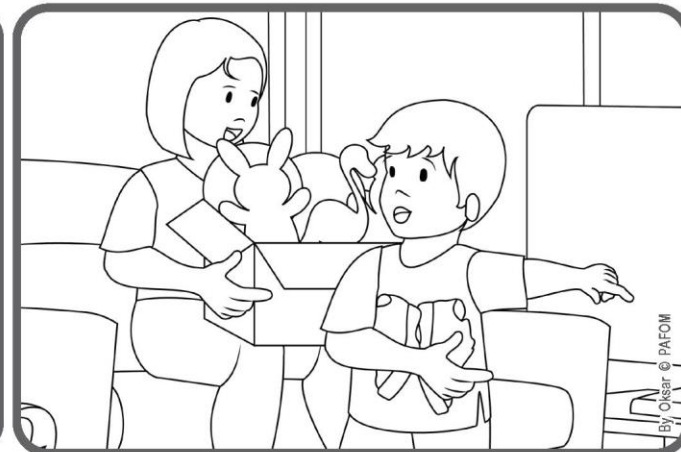


ブラジルの ホセの いえです。がっこうから つかれて かえってきた ホセは、ソファに ごろんと なって、おきにいのり の ばんぐみを みていました。おかあさんは、ちらかった おもちゃを かたづけするように いました。でも、ホセは うごきませんでした。



ホセは、おかあさんの こえが ちゃんと きこえていました。あさに さいころを ふったとき、「じぶんから さきに あいする」だったことも おぼえていました。でも、ホセは きこえないふりをしました。つかれて、やすみたかったのです。

ジェン4 とは、キアラ・ルーベックが創立したフオコラーレの子どもたちです。
© PAFOM, フオコラーレ www.focolare.org. イラストと文-ジェン4センター監修



でも、ホセは しあわせでは ありませんでした。すると、とつぜんたちあがって、テレビを けし、おかあさんといっしょにおもちゃを かたづけました。ふたりは いっしょに いえじゅうをきれいにしました。ホセは とても しあわせな きもちになりました。あいがじぶんの こころには いってきたと かんじたのです。